

新しい公共の場づくりのためのモデル事業補助金事業計画書【別紙】

事業名	「新しい支え合い」による安心生活支援事業
事業実施 主体名	二戸地区社会福祉協議会連絡会
事業概要	県北広域（二戸・久慈地域）の福祉関係団体等と市町村及び県で組織する協議体において、地域の生活課題（特に生活弱者の権利擁護等に関するもの）への取り組みとして、福祉活動を担う市民（認知症サポーター、市民後見人等）の育成と、県北広域におけるネットワーク並びに活動拠点の構築を図るもの。
事業内容	<p>※ モデル事業としての要件（実施要領第5の2の(5)③の要件）や審査の視点（支援事業の趣旨との関係、目的及び計画等の妥当性、事業の波及効果、事業の継続性・発展性、新規性・先導性等）を踏まえて、記載してください。</p> <p>1 事業の背景・目的</p> <p>これまでに実施したニーズ調査や事例検討の結果、県北広域においても、孤立死・孤独死、虐待やDV、振り込め詐欺や悪質商法の被害、老老介護と認認介護など「<u>生活のしづらさ（社会的バルネラビリティ）</u>」が出現していることが判明したことから、今後も拡大するであろうこれらの「生活のしづらさ」に対して、行政と地域の協働により包括的かつ継続的に支援するシステムの構築が求められている。</p> <p>2 内容</p> <p>多様化、深刻化する地域課題は、フォーマル・サービスだけでは対応できない状況を出現させていることから、インフォーマル・サービスを担い得る市民（認知症サポーターや市民後見人など）の育成と、福祉従事者等への専門的な助言指導、並びに県北地域における官民協働の「新しい支え合い」ネットワークと活動拠点の構築を図る。</p> <p>同様の活動は、県内の他地域においても検討されているところであるが、県北広域の活動は、先駆的かつ独創的な活動として注目を浴びているところでもあり、モデル事業としての役割を十分に果たすことができると考える。</p> <p>3 実施計画</p> <p>(1) 実施（予定）年月日</p> <p>平成24年6月1日から平成25年3月31日</p> <p>(2) 実施場所</p> <p>二戸市仁左平字横手2番3（二戸市社会福祉協議会）</p> <p>(3) 参加者数（予定）</p> <p>ア 委員等として 28～30名（定例会10回、事例検討会5回）</p> <p>イ シリーズ研修参加者数 90名（@30名×3回）</p> <p>ウ 市民向けセミナー等参加者として 400名（@200名×2会場）</p>

(4) 活動内容

ア「新しい支え合い」の地域づくりに関する人材育成

「新しい支え合い地域づくり」に関する人材育成研修（全3回）として、「成年後見・市民後見」、「虐待防止」及び「認知症」に関する市民を対象とした啓発研修を実施する。
また、住民啓発用のリーフレットを作成し、啓発活動を実施する。

イ 相談援助支援事業

県北広域の社会福祉施設等を対象とした「巡回相談会」と、市民向けの相談窓口を常設し、福祉従事者のみならず地域住民の相談・援助を行う。

ウ「新しい支え合い」ネットワークの構築

県北広域における社会福祉・権利擁護に関する従事者を対象に、年6回程度の事例検討会等を開催し、地域の広範な生活課題に対応できる官民協働の地域生活支援ネットワークの構築を図る。

4 実施体制（直接、委託、助成など）

二戸地区社会福祉協議会連絡会が事業のすべてを実施する。

5 支援費の配分

二戸地区社会福祉協議会連絡会 1, 513千円

6 概略スケジュール

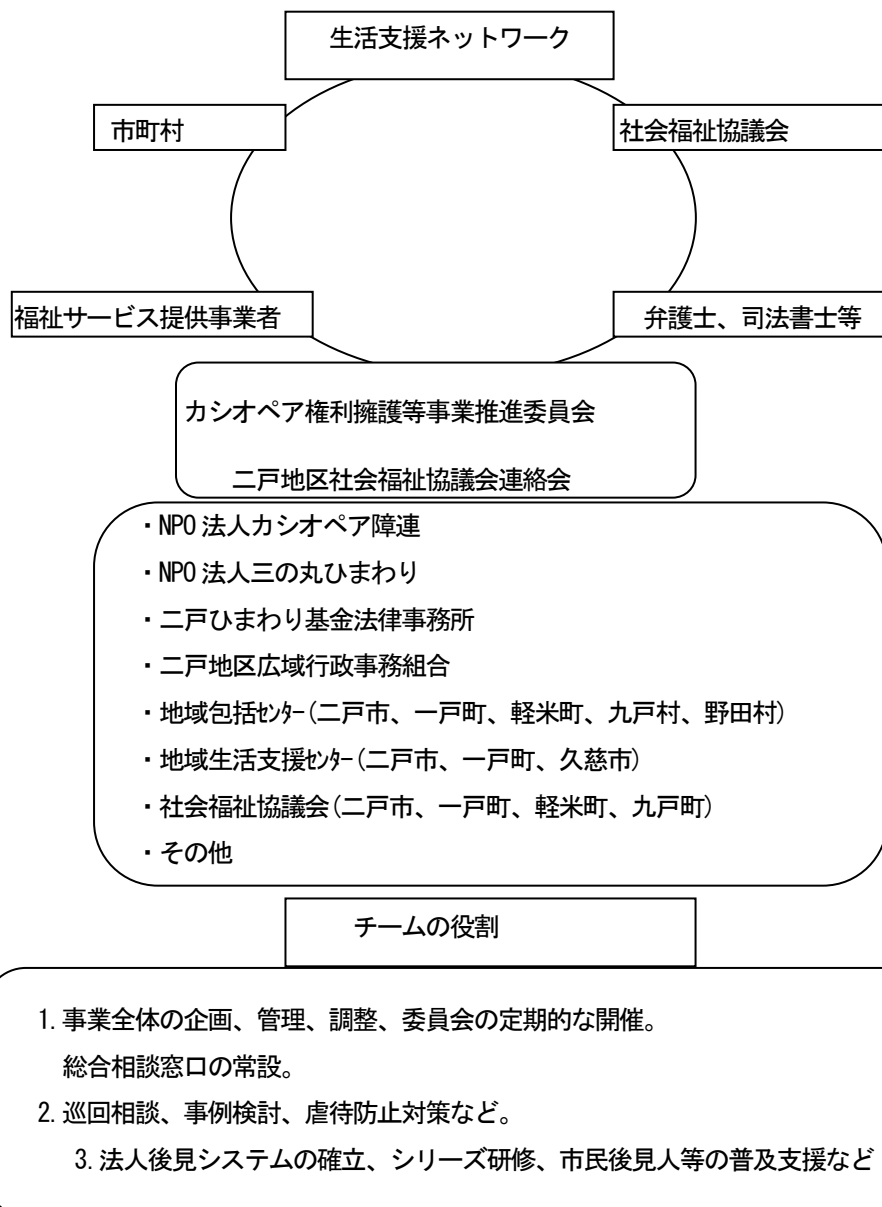
	平成24年度			
	第1期（4～6月）	第2期（7～9月）	第3期（10～12月）	第4期（1～3月）
拠点づくり	<input type="checkbox"/> 定例会の開催（毎月）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⇒ <input type="checkbox"/> 私人受任による実績の積み上げ <input checked="" type="checkbox"/> NPO法人設立準備・・・ 認証申請・設立			
啓発	<input type="checkbox"/> 相談窓口の常設（カシオペア障連「おらんど」内）・・・・・・・・⇒ <input type="checkbox"/> 住民啓発用リーフレットの作成・配布 <input type="checkbox"/> メディアを活用した啓発 <input type="checkbox"/> シリーズ研修（年3回程度） <input type="checkbox"/> 市民セミナーの開催 <input type="checkbox"/> 認知症サポーター研修 <input type="checkbox"/> 市民後制度研修			
支援活動など	<input type="checkbox"/> 事例検討会の開催（隔月）・・・（フローチャートの作成配布）・・・ 市民セミナーの開催 <input type="checkbox"/> 相談支援窓口の設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・⇒ <input type="checkbox"/> 巡回相談（第1回） <input type="checkbox"/> 巡回相談（第2回） <input type="checkbox"/> 久慈地区の関係機関・団体への周知・支援・・・・・・・・・・・・・・・・⇒			

7 期待される成果

地域を担う人材の育成、並びに関係機関のネットワークづくりが推進され、「新しい支え合い」（福祉コミュニティ）による、公的サービスのみでは対応できない幅広い「生活のしづらさ」に細やかに対応できる地域の形成が期待できる。

特に、平成 25 年度以降については、活動拠点となる NPO が設立され、県北広域における、成年後見制度の啓発・利用支援などの権利擁護に関する事業の展開、市民生活にかかる包括的な相談窓口としての役割、並びに社会福祉領域における市民の育成などの成果が期待される。

会議組織の体制及び取組予定



被災市町村 との連携方 法	
支援額／全 体事業費	<input type="text" value="1, 5 1 3"/> 千円 / <input type="text" value="1, 5 1 3"/> 千円
事業期間	西暦 <input type="text" value="2012"/> 年 <input type="text" value="06"/> 月～ <input type="text" value="2013"/> 年 <input type="text" value="03"/> 月頃